

鯖江市地域公共交通計画(改訂案)に対する
意見募集（パブリックコメント）の結果について

- 1 募集期間 令和3年12月8日（水）～令和3年12月17日（金）
- 2 公表の方法 市ホームページ、市役所、地区公民館
- 3 意見の提出方法 メール、FAX、郵送
- 4 意見の提出者数 3人（6件）
- 5 概要

No	項目 年齢	意見要旨	鯖江市の考え方
1	つつじバス ・ 75歳	河和田線について、バイパスの利用による時間短縮は評価できますが、全体として利便性が向上したとは考えられません。 利用料金を200円から100円に戻したことで利用者が増加に転じた経緯も過去にあったことから、平成29年再編実施前の内容を参考に再度ダイヤの見直しをお願いしたい。	本計画では、主要乗継拠点として4カ所（河和田線についてはJR鯖江駅）を位置づけ、循環線への乗り継ぎの利便性向上や速達性の充実などに配慮し、進めています。
2	運転免許 自主 返納 ・ 60歳	鯖江市での運転免許返納者数の推移が、県全体の推移ほどに増加していない実情として、返納後のつつじバスの利便性にもかなり影響していると思われる。	県全体の増加傾向が大きく見えるのは、返納者数が大きく増え始めた時期が市町ごとに異なることが要因であると思われます。

3	運転免許自主返納 ・ 60歳	返納時に65歳未満の場合、65歳以上の自主返納のような支援が全くないことにも問題があると思われます。	交通事故防止のため65歳以上の高齢者の方を支援するという制度上の趣旨を鑑み、ご理解いただきたいと思います。
4	運転免許自主返納 ・ 60歳	返納の周知方法として、鯖江市のホームページでは、運転免許の返納場所は鯖江警察署または丹南運転者教育センターになっておりますが、運転経歴証明書の交付を依頼する場合は最終的に丹南運転者教育センターへ受け取りに行かなければいけないということを知らない方が多い。	市のサービス以外の各種サービスが受けられ、かつ公的身分証明を兼ねた運転経歴証明書の交付につきましては、丹南運転者教育センターへ受け取りに行く必要があることから、市としてもわかりやすい周知に努めてまいります。
5	運転免許自主返納 ・ 60歳	免許返納後、丹南運転者教育センターに行く場合、週1日でも丹南運転者教育センターの手続き可能日につつじバスの運行（例えば豊線の延長）があればよいので、もう少し高齢者・障がい者目線での運行を考えていただきたい。	本計画では、平成29年4月以降の利用実績を踏まえ、路線網の効率化や速達性向上に加え、循環線と支線の接続性の向上を目指し再編を進めています。丹南運転者教育センターを含め、他市への乗り入れにつきましては、今後の研究課題とさせていただきます。
6	つつじバス 自家 用有償 旅客運 送	①現況の人流をしっかりと把握すること（各町内） 70歳以上（健康で歩ける人）で交通手段がない人を調査し、行く先の希望（病院、買い物先、公共施設、旅行等）を調べる。調査する人は（民生委員、福祉委員、社協、区長等）アンケートで調	本計画では、市内2,000世帯（1世帯4名まで）にアンケートを実施し、回答率は38.1%で票数761世帯（1,445票）からご意見をいただきました。 また、平成29年4月以降の利用実績を踏まえ、路線網の効率化や速達性向上に加え、循環線と支線の接続性の向上を目指し、進めています。

<p>77歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 査したデータを現在の交通課と長寿福祉課等のデータを照らし合わせる。10 地区→153 町内を4ヶ月調査 <ul style="list-style-type: none"> ②鯖江市の地図に落とし込んでいく。 ③人を運ぶ手段を各種組み合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> イ) つつじバス…巡回コースだけ作成、大型→中型、小型に変わる <ul style="list-style-type: none"> 大型バスを減らす(2台以上) ロ) タクシー(2社)…巡回コース以外をフォローする。50%補助金を使う。 ハ) 民間人(有料ボランティア)の乗合タクシー(河和田式)→さらに周辺の町内、集落の交通手段、運転手(第2種免許ある人等)人材を発掘し応援していく体制を作る。 <p>これからの時代、都市以外は自助・共助を持って「地域力」を高める課題がある。行政がきっかけ作りしっかり応援すること(助成金を出す、ボランティアする人を表彰する等)、そして市と民間と一体となって対応していくこと。</p>	<p>今年5月から実証運行している河和田地区限定の自家用有償旅客運送事業は、タクシーの配車サービスの提供が困難となっていた河和田地区を発着とする条件で認められたものであり、市内一円へと拡充していくことは困難と捉えております。</p>
------------	--	--